

◆平成19年度予算がまとまりました

拠出金の負担増加により 赤字予算となる

平成19年度予算が3月8日に開催された第84回組合会において承認されましたので、お知らせいたします



**拠出金は前年度に比べ
約3億2千万円も増加**

今年度の予算編成にあたっては、一般保険料率を前年度と同じ千分の87に据え置き、被保険者数6200名、標準報酬月額31万2922円などの数値をもとに算出しました。

収入のほとんどを占めるのが、事業主と被保険者のみなさんから納めていただく保険料です。今年度は前年度比3073万円増加の25億4791万円となりました。

支出では、みなさんが医療機関にかかったときの医療費や、出産などの給付金などに充てられる保険給付費として、同比1959万円減の13億3138万円を見込んでいます。

高齢者などの医療費に使われる拠出金は11億7240万円で、同比3億1945万円もの増

加です。また、健診の実施や健康相談などみなさんの健康づくりとして保健事業費を1億2056万円計上しています。

これらの結果、実質的な収支である経常収支では差し引き1億3101万円の赤字が発生したため、繰越金で赤字を補う予算編成となりました。



**財政運営は来年度以降
さらに厳しく**

来年度からは新たな高齢者医療制度の創設にもない、高齢者医療費の負担増加が懸念されるうえ、40歳以上の被保険者・被扶養者を対象とした健診・保健指導の義務化による保健事業費の大幅な増加も予想されることがなどから、財政状況はさらに厳しくなることが見込まれています。

**総額◆
27億7436万円**

ます。

当健保組合としましては、引き続き安定的な健保組合運営を推し進めていくとともに、みなさんの健康づくりをサポートする事業を積極的に実施してまいります。ぜひみなさんもこれらを活用され、健やかな毎日を送っていただきませう、ご協力をよろしくお願いいたします。



**4月給与分から
介護保険料率に変更に**

今年度、当健保組合が国に納める介護納付金は1億9718万円です。これをもとに介護保険料率を算出した結果、前年度の1000分の11・4から、1000分の11・2に変更することになりました。負担割合は事業主・被保険者の折半となります。

平成 19 年度 健康保険収支予算のあらまし

収入

科 目	予算額 (千円)
みなさんと事業主から 納められる保険料	2,547,919
健保組合が互いに出し合っ て助け合うお金 (調整保険料)	34,432
その他	192,018
合 計	2,774,369

支出

科 目	予算額 (千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,331,384
高齢者の医療などに使われる 拠出金	1,172,405
健康づくりに使われるお金	120,562
健保組合が互いに助け合う ための拠出金	34,432
その他	65,586
いざというときのための予備費	50,000
合 計	2,774,369

収入合計● 447,479 円

平成 19 年度 介護保険収支予算のあらまし

収入

科 目	予算額 (千円)
介護保険料	193,299
その他	12,229
合 計	205,528

支出

科 目	予算額 (千円)
介護納付金	197,189
その他	8,339
合 計	205,528

被保険者 1 人あたりでみた 健康保険収支予算

